

4.4.2 導・送・配水管の被害件数

表 4.8 に口径・管種・被害形態別の被害件数を示す。

また、表 4.8 に被害件数を管種毎の管路延長で除した被害率を示す。

- ① 合計 23 件の被害が発生し、被害率は平均で 0.25 件/km であった。
- ② ダクタイル鉄管の被害件数は 7 件（付属設備 5 件を含む）であり、被害率は 0.12 件/km であった。被害形態は一般継手の抜け及び付属設備の被害（写真 4.5, 4.6 参照）であった。また、穴水町には耐震継手のダクタイル管路が 3.9km 布設されていたが、被害は無かった。
- ③ 鋼管の被害件数は 1 件であり、被害率は 0.57 件/km であった。被害内容は、溶接継手管路での孔食による被害であった。
- ④ 鉄筋コンクリート管の被害件数は 15 件で、被害率は 4.95 件/km であった。被害形態は継手漏水であった。なお、被害が発生していた鉄筋コンクリート管は取水口から宇留地浄水場への呼び径 250 の導水管であり、地震発生により配水システム全体に大きな影響を与えた（図 4.16 参照）。

表 4.8 口径・管種・被害形態別被害件数（穴水町）

管種	DIP	CIP	ACP	SP	VP	HP	その他	計	管路延長 (km)	被害率 (件/km)
口径	50mm以下							0	3.9	0.00
	75mm	5						5	30.2	0.17
	100mm	1			1			2	16.5	0.12
	125～ 150mm							0	11.8	0.00
	200mm	1						1	8.1	0.12
	250mm以上						15	15	22.6	0.67
被害形態	継手抜け	2						2		
	継手漏水					15		15		
	管体破損				1			1		
	付属設備	5						5		
	その他							0		
計	7 (一般継手)	0	0	1	0	15	0	8 23	(90.1) 93.1	(0.09) 0.25
管路延長(km)	57.7	4.0	0.5	1.7	26.2	3.0	0.1	(90.1) 93.1		
被害率(件/km)	0.12	0.00	0.00	0.57	0.00	4.95	0.00	(0.09) 0.25		

穴水町上下水道課の資料による

(注) 上段 () 内の値は、鉄筋コンクリート管の被害を除いたものである。